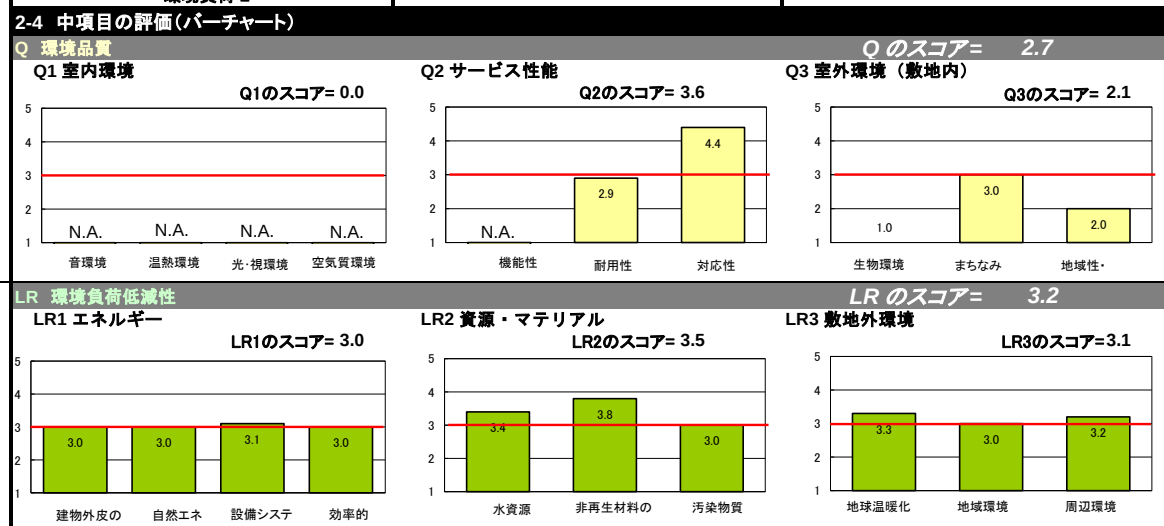
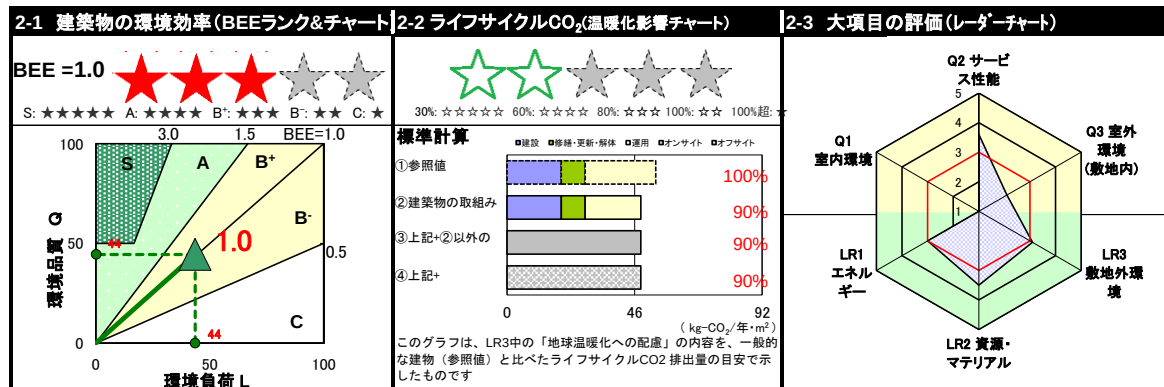


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長崎ジャッキ 安城新工場	階数	地下0階地上3階
建設地	愛知県安城市福室町金ヶ瀬69番170番71番, 72番, 73番, 74番, 107番1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	30 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年8月 予定	評価の実施日	2025年1月22日
敷地面積	9,739 m ²	作成者	田中 陸
建築面積	5,206 m ²	確認日	2025年1月22
延床面積	7,076 m ²	確認者	本間 敦



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	
3.3	1.0	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
		52.4 %
		建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
		0.0 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	
3.6	1.0	<外装材に使用した地域性のある材料>
		なし
		<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
		なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
【(仮称)長崎ジャッキ 安城新工場】

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル			3.0	-	-	-	-		
1.2 遮音			-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能			-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能			-	-	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	3.0	-		
1.3 吸音			-	-	-	3.0	-		
2 温熱環境			-	-	-	-	-		
2.1 室温制御			-	-	-	-	-		
1 室温			3.0	-	-	3.0	-		
2 外皮性能			3.0	-	-	3.0	-		
3 ゾーン別制御性			3.0	-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	-	-	3.0	-		
2.3 空調方式			3.0	-	-	3.0	-		
3 光・視環境			-	-	-	-	-		
3.1 昼光利用			-	-	-	-	-		
1 昼光率			3.0	-	-	3.0	-		
2 方位別開口			3.0	-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備			3.0	-	-	-	-		
3.2 グレア対策			-	-	-	-	-		
1 昼光制御			5.0	-	-	3.0	-		
3.3 照度			3.0	-	-	3.0	-		
3.4 照明制御			3.0	-	-	3.0	-		
4 空気質環境			-	-	-	-	-		
4.1 発生源対策			-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質			3.0	-	-	3.0	-		
4.2 換気			-	-	-	-	-		
1 換気量			3.0	-	-	3.0	-		
2 自然換気性能			3.0	-	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	-	-	3.0	-		
4.3 運用管理			-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	-	-	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	-	-	-	-		
Q2 サービス性能			-	-	0.43	-	-	3.6	
1 機能性			-	-	-	-	-		
1.1 機能性・使いやすさ			-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性			3.0	-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		独自	3.0	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性			-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	-	-	3.0	-		
2 リフレッシュスペース			3.0	-	-	-	-		
3 内装計画			3.0	-	-	-	-		
1.3 維持管理			-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保			-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			0.5	2.9	0.52	-	-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.4	3.0	0.48	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			0.3	3.0	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			-	3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②	-	3.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			-	3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			-	3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			-	3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	3.0	0.23	-	-		
2.4 信頼性			0.1	2.8	0.19	-	-		
1 空調・換気設備			3.0	3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	3.0	0.20	-	-		
3 電気設備			3.0	3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		②	3.0	3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備			3.0	2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			0.4	4.4	0.48	-	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり		②	0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり		-	5.0	0.60		3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	5.0	0.40		3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	5.0	0.31		3.0	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.5	0.38				
1	空調配管の更新性		-	5.0	0.17				
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17				
3	電気配線の更新性		3.0	5.0	0.11				
4	通信配線の更新性		3.0	3.0	0.11				
5	設備機器の更新性		3.0	3.0	0.22				
6	バックアップスペースの確保	3.0	3.0	0.22					
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.57	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④	-	2.0	0.50			-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		-	2.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR1 エネルギー				-	0.40		-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	3.0	0.20		-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.10			-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.79	3.0	3.1	0.50		-	-	3.1
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20		-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		1.0	3.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		3.0	3.0	0.50			-	
4.2	運用管理体制		3.0	3.0	0.50			-	
	集合住宅の評価		-	-	-		-	-	
4.1	モニタリング		-	3.0	-		-	-	
4.2	運用管理体制		-	3.0	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル					0.30		-	-	3.5
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15		-	-	3.4
1.1	節水		3.0	4.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60			-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.67			-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.8	0.63		-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	② 独自	-	2.0	0.07			-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	3.0	0.25			-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.21			-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	5.0	0.21			-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	-	-			-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		独自	3.0	5.0	0.25			-
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22			-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68			-	
1	消火剤		-	-	-			-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	3.0	0.50			-	
3	冷媒		3.0	3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境					0.30		-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		①	-	3.3	0.33			-	3.3
2 地域環境への配慮			0.3	3.0	0.33		-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		-	5.0	0.25			-	
2.2	温熱環境悪化の改善		-	2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	3.0	0.25			-	
1	雨水排水負荷低減	独自	-	3.0	0.25			-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25			-	
3	交通負荷抑制	独自	-	3.0	0.25			-	
4	廃棄物処理負荷抑制		-	3.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.2	0.33		-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40			-	
1	騒音	独自	-	3.0	0.50			-	
2	振動	独自	-	3.0	0.50			-	
3	悪臭		-	-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40			-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70			-	
2	砂塵の抑制		-	3.0	-			-	
3	日照障害の抑制		-	3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制			0.2	4.4	0.20			-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	5.0	0.70			-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

(仮称)長崎ジャッキ 安城新工場

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.3
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	3.6
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.4	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:52.4%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)長崎ジャッキ 安城新工場

計画上の配慮事項	
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。
Q1 室内環境	評価対象外。
Q2 サービス性能	階高を確保することで空間にゆとりをもたせている。
Q3 室外環境(敷地内)	緑地を多く設けている。
LR1 エネルギー	LED照明器具を採用している。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓を採用している。
LR3 敷地外環境	周辺地域にに日影を極力落とさない計画としている。
その他	